

益田赤十字病院では、平成30年7月豪雨災害に対し、日本赤十字社島根県支部より派遣要請を受け救護班を派遣し医療救護活動を行っています。

8/21 (火) こころのケア要員派遣

益田赤十字病院のこころのケア要員は、日本赤十字社島根県支部より派遣依頼され、島根県支部職員、松江赤十字病院職員、血液センター職員と共に日本赤十字社広島県支部へ向け出発しました。

こころのケア要員は広島県呉市内の東・西保健センター管内で避難所被災者や被災地支援者である行政職員、保健師を対象に6日間、こころのケア活動を行う予定です。

7/14 (土) 支部支援要員派遣

益田赤十字病院支部支援要員2名は日本赤十字社島根県支部より派遣依頼され、日本赤十字社広島県支部へ向け出発しました。

支部支援要員は日本赤十字社広島県支部で5日間、情報収集などの災害支援活動を行う予定です。

7/11 (水) ~14 (土) 救護班活動記録②

- ・ 小屋浦小学校と隣のふれあいセンターには300名を超える被災者が避難され、救護班は4日間で227名の傷病者の手当てをしました。
- ・ 現地では、被災者へ活動意欲を高めるため、トイレ清掃や体操などの指導を行いました。また4日目には、近隣の町営集会所より巡回診療の依頼を受け看護師を派遣し、血圧の測定や水分補給の指導をしました。
- ・ 小屋浦地区の下水道は未だ復旧の目途が立っていないとのことでした。(坂町役場確認)
- ・ 救護班は、広島原爆・赤十字病院の救護班へ引継ぎを行い無事に帰還しました。

7/11 (水) 救護班活動記録①

本日、朝7:00に救護班第1班が安芸郡坂町に向けて出発しました。

【日時】 7月11日(水)~7月14日(土)

【派遣職員】 医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名

【内容】 避難所での医療支援(予定)

【派遣場所】 広島県安芸郡坂町立小屋浦小学校(予定)

【経路】 浜田道→山陽自動車道→を經由し、安芸郡坂町

7/10 (火) 益田赤十字病院 DMAT 帰院

18時にDMATが帰院しました。現地では尾道、三原地区の病院のスクリーニングを実施。水、食料が不足し、薬品、仮設トイレは切迫していないとのことでした。

7/9 (月) 益田赤十字病院 DMAT (災害医療支援チーム) 活動記録

島根県からの派遣要請により、西日本豪雨災害を受けて7月9日(月)より益田赤十字病院DMAT1隊を派遣いたしました。

- 【日 時】** 7月9日（月）7：00から7月10日（火）17：00
- 【派遣職員】** 医師1名、看護師2名、主事2名
- 【内 容】** 各病院の避難所スクリーニング・透析患者の受け入れ支援・傷病者の搬送
- 【活動場所】** 福山市民病院・三原市医師会病院・興生総合病院
- 【経 路】** 浜田道→尾道道→山陽自動車道を経由し、福山